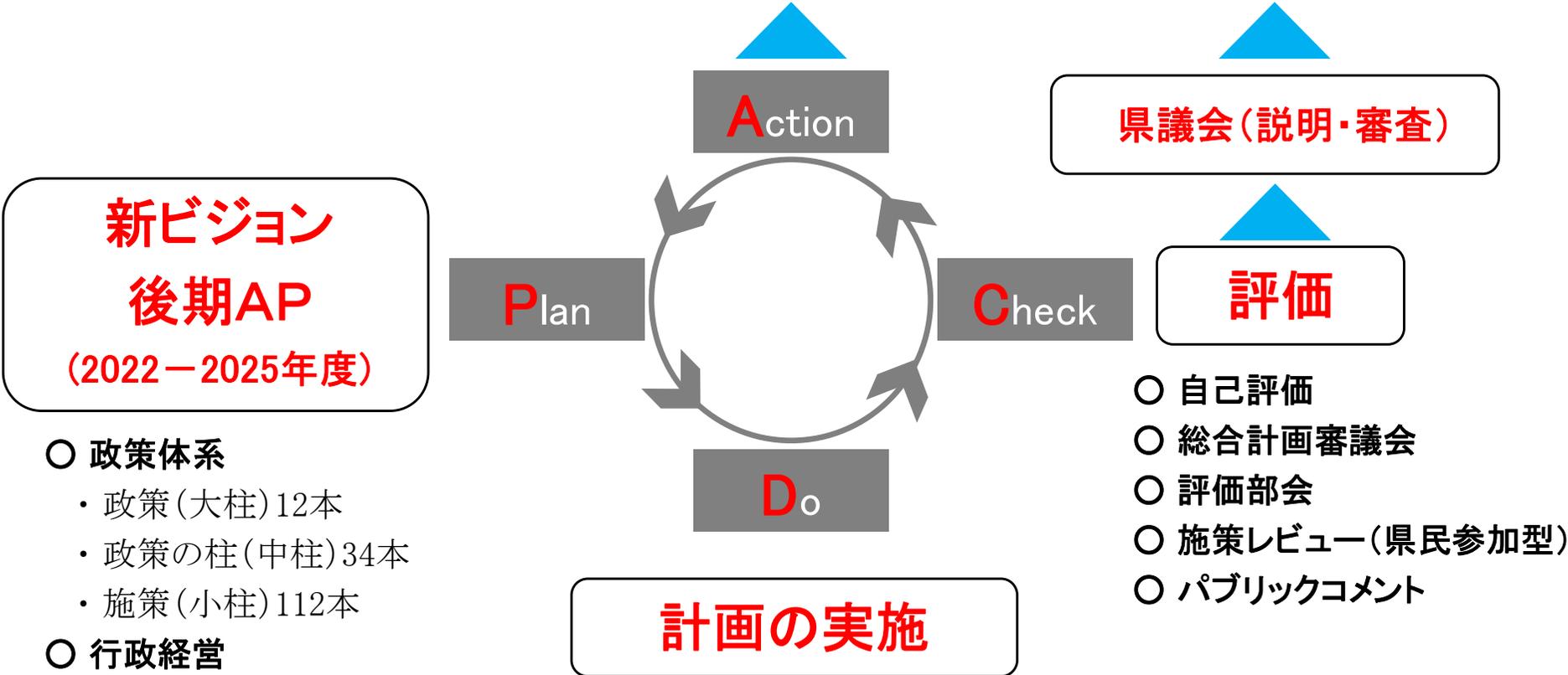


# 新ビジョン 後期アクションプランの評価

## PDCAサイクルの流れ

**施策展開に反映**  
評価結果に基づき、施策の見直し・重点化、新規施策の打ち出し



**新ビジョン  
後期AP**  
(2022-2025年度)

- 政策体系
  - ・ 政策(大柱)12本
  - ・ 政策の柱(中柱)34本
  - ・ 施策(小柱)112本
- 行政経営
- 地域の目指す姿

県議会(説明・審査)

評価

- 自己評価
- 総合計画審議会
- 評価部会
- 施策レビュー(県民参加型)
- パブリックコメント

計画の実施

# 新ビジョン 後期アクションプランの評価

## 令和4年度の評価方針



※併せて、最新の実績値の判明に伴う指標の見直しを実施

# 新ビジョン 後期アクションプランの評価

## スケジュール

- 1 ~9月 自己評価
- 2 9月10日、11日 施策レビュー
- 3 10月12日 評価部会
- 4 11月10日 **総合計画審議会**
- 5 11月7日～11月29日 パブリックコメント
- 6 12月 県議会における報告・審査
- 7 令和5年2月 “ふじのくに”づくり白書の公表

# 策定後の主な状況変化と課題

## 策定後の主な状況変化

## 主な課題

### 1 県民不安の増大

新型コロナの長期化、激甚化する自然災害、認定こども園送迎バス事故、熱海土石流災害における行政対応の失敗との指摘等により**県民不安が増大**している。

さらなる安全・安心な地域づくりやリスクに対する万全の備えにより、**県民生活の不安軽減**を図る必要がある。

### 2 人の流れの呼び込みの好機到来

本年8月の総務省人口動態調査によると新型コロナ等の影響により、東京圏の人口が初のマイナス。人の流れが大きく変化し、**人の流れを呼び込む好機が到来**している。

地域資源の磨き上げ等により、県内外の人々に選ばれる**魅力ある地域づくりの一層の推進**を図る必要がある。

### 3 国際情勢等を背景とした厳しい経済環境

コロナ下の経済活動は正常化しつつある反面、ロシアのウクライナ侵攻や日米の金利差拡大など**激変する国際情勢等を背景に、経済環境は厳しさを増している**。

本県経済の早期回復や成長促進、産業構造転換に取り組み、**力強い経済の再生と発展**を図る必要がある。

### 4 省エネや省資源化等の重要性の高まり

急激な円安の進行に加え、エネルギー・原材料価格等の上昇、海外からの資源供給の不安定化懸念など、**省エネや省資源化等の重要性**が高まっている。

資源の有効活用、海外依存性の少ない資源への転換など、**脱炭素・循環型社会構築の加速**を図る必要がある。



# 今後の施策展開

## 1 県民生活の不安軽減

- ✓ 司令塔機能を発揮する「**(仮称)ふじのくに感染症管理センター**」を設置し、感染症への対応力を向上。
- ✓ ハード・ソフトを組み合わせた**総合的な風水害・土砂災害対策を流域全体で推進**。
- ✓ 近年の災害の課題を踏まえた**新たな地震・津波対策アクションプログラムを策定**。
- ✓ 安全管理指針の策定や安全装置の導入支援等により、**保育施設等送迎バスの安全対策を徹底**。
- ✓ **危険性のある盛土の是正や指導監督体制の強化**。  
職員の意識改革や行動変容による**県庁組織文化の改善**。
- ✓ サイバー防犯訓練の実施や支援ネットワークの構築等により、**中小企業のサイバーセキュリティ対策を支援**。



(仮称)ふじのくに感染症管理センター



危険性のある盛土の  
現地確認の様子

# 今後の施策展開

## 2 魅力ある地域づくり①

### 世界クラスの資源を活かした“ふじのくに”静岡の魅力を発信

#### 東アジア文化都市2023(2023年開催)

- 「東アジア文化都市」は、「欧州文化首都」の制度をモデルに、東アジア域内の文化の相互理解と連帯感の促進を目的に毎年度開催。
- 2023年は、本県が日本における「文化都市」として選定。本県を含めて日中韓の4都市が1年間にわたり都市間交流や文化芸術事業を実施し、本県の魅力を県内外へ発信。



#### 浜名湖花博20周年記念事業 (2024年開催)

人・自然・テクノロジーの架け橋  
～レイクハマナ デジタル田園都市～  
をテーマに浜名湖周辺で開催。



#### 実施内容

県を挙げて、開幕・閉幕式典や国際交流事業の実施のほか、年間を通じてスポーツ文化や食文化、ファッションを含む本県独自の文化芸術イベントを切れ目なく県内各地で開催。



「東アジア文化都市」の開催により日本の文化芸術を  
世界に発信し、世界から選ばれる地域を目指す

#### 実施内容

花と緑とテクノロジーが織りなす理想空間の体感や、DX等の最先端技術の実証・展示など「デジタル田園都市構想」のロールモデルを提示。

田園の持つ豊かさにデジタルを融合  
誰もが憧れる美しくゆとりある暮らしを提案

# 今後の施策展開

## 2 魅力ある地域づくり②

- ✓ 人々のライフスタイルの変化に対応した**「仕事のある住まい」の形成**や**広い空き家への住み替えを促進**。移住者数の増加を図るため、**東京圏のテレワーカー向けの情報発信を強化**。
- ✓ 本県の多彩で高品質な食と食文化を活用したブランド戦略を策定し、**「ガストロミーツーリズム」を推進**。
- ✓ 合宿等の誘致や国際大会の開催など、**世界的なスポーツイベントの「レガシー」を活用した交流拡大**。
- ✓ 生徒の主体的な学びを深める探究活動の加速化や国際バカロレア教育の導入、スクールDXの推進など、**多様で魅力ある学びの場づくりを推進**。
- ✓ 県地域公共交通計画を策定し、地域のニーズに応じた**利便性の高い生活交通を維持・確保**。



“ふじのくにに住みかえる”静岡県移住相談センター



自転車競技の開催(トラックレース)

# 今後の施策展開

## 3 力強い経済の再生と発展

- ✓ 県内の経済情勢を的確に捉え、引き続き**中小企業の経営革新や事業継続、資金調達を支援**。
- ✓ 浜松工業技術支援センターを拠点にデジタルものづくりを推進し、**自動車産業のデジタル化の取組を強化**。
- ✓ 創業支援機関・施設との連携等により、**スタートアップやベンチャー企業を継続的に創出**。
- ✓ 静岡県観光アプリTIPSの利用促進等、**デジタル技術を活用した付加価値の高い観光サービスを提供**。
- ✓ 施設園芸における環境制御システムの導入等により、**農業のスマート化を推進**。



浜松工業技術支援センター



スマート農業(ドローンによる農薬散布)

# 今後の施策展開

## 4 脱炭素・循環型社会の構築の加速

- ✓ 省エネ設備の導入支援等により、**原油高騰の影響を受けにくい脱炭素経営への転換を促進。**
- ✓ 再生可能エネルギーの導入・活用により、**価格動向に左右されにくいエネルギーの地産地消を推進。**
- ✓ 地球温暖化防止アプリ「クルポ」の普及による省エネなど**県民のライフスタイルの転換を促進。**
- ✓ ビジネスコンテストやセミナーの実施により、**環境ビジネスに取り組む企業を拡大。**
- ✓ 「静岡県水循環保全条例」に基づき、流域ごとに水循環計画を策定し、**健全な水循環を保全。**



太陽光パネルの設置推進



地球温暖化防止アプリ「クルポ」を活用した取組

# 指標の見直し

## 最新の実績値が目標値以上となった指標について、見直しを実施

### 1 成果指標

政策	指標	基準値	現状値	目標値
9	移住相談窓口等を利用した県外からの <b>移住者数</b>	(2020年度) 1,398人	(2021年度) 1,868人	(現)1,650人 (新) <b>3,000人</b>

### 2 活動指標

政策	指標	基準値	現状値	目標値
1	医薬品の適正使用等に関する県民向け出前講座の開催数	(2020年度) 34回	(2021年度) 74回	(現)34回 (新)74回
6	スクールカウンセラー配置人数	(2021年度) 小中139人 高25人	(2022年度) 小中142人 高35人	小中169人 (現)高30人 (新)高45人
7	高齢者雇用推進コーディネーターの支援による就職者数	(2020年度) 214人	(2021年度) 262人	(現)250人 (新)300人
8	創業にかかる県制度融資の利用件数	(2020年度) 604件	(2021年度) 826件	(現)665件 (新)910件
8	企業のライフステージ(創業・事業拡大・事業承継)に応じた県制度融資の利用件数	(2020年度) 752件	(2021年度) 1,097件	(現)820件 (新)1,190件

